

# カロム倶楽部 第36号

2006/9/3 発行: 日本カロム協会 広報渉外部会

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3F TEL(0749)22-7522/FAX(0749)22-9018

http://www.biwako.ne.jp/~carom E-mail carom@pop.biwako.ne.jp

## お待ちかね！レーティング・ポイント・ランキング発表

### 奥居聡氏、門野裕氏に1ポイント差肉迫。古川慎氏大躍進！TOP10目前！

門野裕氏、T戦制覇も3敗を喫しポイント減。T戦準優勝は角田克氏！！

古川慎氏、浩司氏・克司氏・裕司氏に勝利。161pt獲得！門野文君も等氏・純也氏・秦氏らに勝利111ptで大幅アップ！

新加入の國武氏、純也氏・勉氏・克司氏に勝利して、鮮烈なデビューを飾る！文哉君・龍也君・夏帆さん着実に実力UP！！

第36回順位	第36回レーティング	氏名	第35回順位	第35回レーティング	第34回	第33回
1	1,452	門野裕司	1	1,489	1	1
2	1,451	奥居聡	2	1,458	2	2
3	1,360	山崎匠	3	1,360	3	3
4	1,315	伊藤明雄	5	1,315	5	5
5	1,296	鈴木智也	6	1,296	6	6
6	1,292	門野勉	7	1,292	9	7
7	1,287	門野純也	4	1,351	4	4
8	1,254	角田克司	9	1,252	7	10
9	1,222	角田浩司	8	1,259	8	14
10	1,218	井戸真也	10	1,249	11	8

選手権大会直前の定例競技会、上位陣が伸び悩む中、古川慎次氏や初参加の國武氏が好成績をあげた。文哉君、龍也君、夏帆さんも着実に実力をアップさせている。弘樹君にはNHKのお姉さんの対戦相手としてお手伝いいただいた。調子を崩しはしないか心配だったが、大会での好成績にホッと安堵である。奥居氏が裕司氏に僅か1ポイントと肉迫。次回定例会では、甲子園の早実VS駒苦のような、手に汗握る好ゲームを期待したい。トーナメント戦優勝は裕司氏、準優勝は角田克司氏。

第36回順位	第36回レーティング	氏名	第35回順位	第35回レーティング	第34回	第33回	第36回順位	第36回レーティング	氏名	第35回順位	第35回レーティング	第34回	第33回
11	1,211	古川慎次	39	1,050	39	12	31	1,084	森下博	31	1,084	31	33
12	1,198	柴田宜秀	13	1,198	12	13	32	1,077	岡村博之	32	1,077	33	27
13	1,189	門野隆	15	1,189	13	9	32	1,077	北川豊	32	1,077	33	35
14	1,187	門野等	12	1,213	14	24	34	1,067	古川弘樹	30	1,098	30	26
15	1,179	奥居美加	14	1,196	10	11	35	1,061	筒井一男	34	1,061	31	33
16	1,171	門野悟	16	1,171	15	15	35	1,061	國武博之	0	0	0	0
17	1,170	秦滋	11	1,232	23	17	37	1,060	赤井康彦	35	1,060	35	36
18	1,161	小水元	17	1,161	16	16	38	1,054	奥居由紀	37	1,054	37	38
19	1,146	疋田真奈人	18	1,146	17	18	38	1,054	竹腰裕紀	37	1,054	37	38
19	1,146	高橋靖	18	1,146	17	18	40	1,047	安田佳代子	40	1,047	40	40
21	1,144	疋田敏	20	1,144	20	21	41	1,043	馬淵克一	41	1,043	41	41
22	1,143	小川睦博	21	1,143	21	22	41	1,043	梶塚浩貴	41	1,043	41	41
23	1,138	田島一成	22	1,138	17	18	43	1,041	大須賀貴幸	65	992	76	72
24	1,134	辻克治	23	1,134	22	23	44	1,040	大橋文子	43	1,040	43	43
25	1,126	芝田清	24	1,126	24	25	45	1,035	古川正夫	44	1,035	44	44
26	1,119	高橋滋	25	1,119	25	27	46	1,034	疋田なつき	45	1,034	45	45
27	1,116	八田猛	26	1,116	26	29	47	1,031	田中久由	46	1,031	47	47
28	1,106	久木寛	27	1,106	27	30	48	1,024	中川一志郎	47	1,024	46	46
29	1,102	若林良仁	28	1,102	28	31	49	1,020	川合四郎	48	1,020	49	49
30	1,100	梶塚浩三	29	1,100	29	32	50	1,018	若林拓	49	1,018	50	50

第36回 順位	第36回 レーティ ング	氏 名	第35回 順位	第35回 レーティ ング	第34回	第33回	第36回 順位	第36回 レーティ ング	氏 名	第35回 順位	第35回 レーティ ング	第34回	第33回
51	1,017	和泉フサ子	50	1,017	48	48	101	942	川上 徹	101	942	100	99
52	1,011	勝間宥一郎	52	1,011	51	51	102	941	久木美智代	102	941	101	100
52	1,011	井戸美沙希	52	1,011	51	51	103	940	岡 祥介	103	940	102	101
54	1,009	梶塚美稀	54	1,009	53	53	103	940	井戸大志	103	940	102	101
55	1,007	田中利和	55	1,007	54	54	103	940	梶塚美代子	103	940	102	101
56	1,004	北村篤司	56	1,004	55	55	103	940	角田龍也	136	861	120	126
57	1,002	河嶋浩二	57	1,002	57	56	107	938	河嶋成浩	106	938	105	104
58	1,000	福富敬雄	58	1,000	55	122	108	937	長谷川智之	107	937	106	105
58	1,000	小出 努	58	1,000	58	57	109	934	熊川三興	108	934	107	106
58	1,000	中川敏郎	58	1,000	58	57	110	933	横田美代子	109	933	108	107
58	1,000	矢田嘉彦	58	1,000	58	57	111	930	門野佑紀	110	930	115	115
62	999	教野正和	62	999	61	60	112	927	浜口泰子	111	927	109	109
62	999	門野大河	62	999	61	108	113	924	浜口ふゆ	97	950	96	95
64	991	安田良介	51	1,014	63	78	114	921	辻本龍男	112	921	110	110
65	984	森 豊	66	984	64	61	115	920	湊 加津夫	113	920	111	111
65	984	遠藤年生	66	984	64	61	115	920	秦美代子	113	920	111	111
65	984	鏑田一治	66	984	64	61	117	919	馬淵有加里	115	919	113	113
65	984	前田 修	66	984	64	61	118	915	川上 智	116	915	114	114
65	984	鬼沢一彦	66	984	64	61	119	913	井川良一	117	913	115	115
65	984	西澤清隆	66	984	64	61	119	913	馬淵紗也加	117	913	115	115
65	984	奥居雅彦	66	984	64	61	121	910	古川貴朗	119	910	118	118
65	984	田中ふじえ	66	984	64	61	122	908	浜口知奈	120	908	119	119
65	984	横山秀也	66	984	64	61	123	902	山本喜信	121	902	121	120
65	984	深田 蕃	66	984	64	61	124	901	若林伸亨	122	901	122	121
65	984	林 良治	66	984	64	61	125	899	小川千歳	123	899	123	122
76	982	浜口浩一	64	998	75	83	126	898	門野 修	124	898	124	124
77	981	上田盲宏	77	981	76	72	127	897	野口しのぶ	125	897	125	74
78	980	河合大樹	78	980	78	74	128	896	井川雅子	126	896	126	125
79	979	篠原重美	79	979	79	76	129	893	井川裕貴	127	893	127	127
80	977	山口 篤	80	977	80	77	130	891	篠田耕太	128	891	128	128
81	976	石川雅一	81	976	81	78	131	887	梅田 零	129	887	129	130
82	975	堤 周徳	82	975	82	80	132	886	井川達貴	130	886	130	131
82	975	松田充弘	82	975	82	80	133	882	平井 治	131	882	132	133
84	974	馬淵加奈恵	84	974	84	82	133	882	久木 武	131	882	132	133
85	970	北川敦久	85	970	85	84	135	876	馬淵加寿美	133	876	134	135
85	970	高橋勝巳	85	970	85	84	136	875	梅田拓未	134	875	136	136
87	968	森 城斗	87	968	87	86	137	861	新木泰子	136	861	138	138
87	968	森 海斗	87	968	87	86	138	857	太田英史	138	857	139	139
87	968	古川夏帆	94	952	93	92	139	856	鈴木則成	135	872	137	137
90	966	高原淳志	89	966	89	88	140	855	松本伸次	139	855	140	140
90	966	後藤治郎	89	966	89	88	141	853	三島和史	140	853	141	141
92	959	井川ともみ	91	959	91	90	142	850	林 三郎	141	850	142	142
92	959	井川さとみ	91	959	91	90	143	846	松原清美	143	846	143	144
94	958	門野文哉	142	847	134	142	144	843	猪飼弘実	144	843	144	145
95	956	田沢 光子	93	956	0	0	145	821	柴田久美子	145	821	145	146
96	952	柳 圭二	94	952	93	92	145	821	大石よう子	145	821	145	146
97	951	平井芳治	96	951	95	94	147	812	山崎房子	147	812	147	129
98	946	西野幸子	98	946	97	96	148	794	清水健一	148	794	148	148
99	944	荒木正義	99	944	98	97	149	754	寺嶋宏展	149	754	150	149
99	944	久木 茂	99	944	98	97	150	745	若林武和	150	745	149	150
							151	731	木村浩一郎	151	731	151	151

# 第19回 カロム日本選手権大会 めもりーず

6月18日の午前8時、彦根市民体育センター第1競技場は、まだ誰にも荒らされていない甲子園球場のマウンドのような、整然と静寂に埋め尽くされていた。まるで、これから僕たちの前に現れる、ある意味見慣れた風景が、「今年ちょっと違うよ」ってささやきかけることを知っているかのように、聞き漏らすまいと静まりかえっていた。

延べ参加選手数は、492名と昨年より1割増。招き猫の御利益だろうか！？最高年齢は86才のお祖母ちゃんが、お孫さんとペアを組んで出てきてくれた。東京からやって来た女性ペアの選手宣誓が熱戦の火蓋を切る。



例年ここまでの道程が結構大変だ。特に受付は、通勤ラッシュ並みにごったがえしたりする。参加登録確認証を提示してもらって、不備が無いか確認。ゼッケンと参加記念品、予選リーグ対戦表、大会パンフを渡す。単純な作業だが、350名近くに対応することは、そんなに容易いことではない。今年は、そのプレッシャーから開放された。その分、事前の準備はきつかったけれど。参加登録確認証と一緒に、ゼッケン&予選リーグ対戦表を事前に送付したのだ。若干のトラブルを除けば、当日の受付は参加記念品とパンフを渡すだけで終わってしまう。朝のJR山手線がのぞみ指定席のようにスッキリしてしまった。

確か4年前もそうだったが、今年もまた選手権大会にとって最強のライバルが戻ってきた。そのライバルは、僕たちスタッフの気持ちも惹きつけてしまうほどの凄いヤツだ。でもそいつはここには居ない。日本から遠く離れたドイツから大きなウエーブを送ってくる。「80分までの勝利」と僕は命名したのだが、オーストラリアとの初戦に痛い黒星を喫した日本は、今夜クロアチアとの運命の一戦を控えていた。小さい頃からの野球小僧でも、W杯となれば話は別だ。大会準備の段階から幾度と無く画面に釘付けにされていた。この日も先発FWは誰になるんだろうとか、最終のブラジル戦を考えると絶対に負けられない試合だとか、そんなことばかり考えていた。パックの乾いた音が耳に届くまでは。



W杯が始まる4ヶ月前、日本の視線は同じヨーロッパでもイタリアに向けられていた。トリノ五輪が僕たちにもたらしてくれたのは、残念ながら感動ではなかったようだ。しかし、「カーリング」と「穴あきメダル」は、僕たちにとっては光明となった。カーリングは「カーリングカロム」として産声を上げ、ちょっと大人っぽいお洒落な空間を提案できたと思う。一方、穴あきメダルはどのように功を奏したのか？

中国市場が盛況だ。爆発的な経済発展真っ只中である。それに伴い、鉄などの原材料費が急騰している。加速度的な価格高騰は、彦根地場産業のバルブ業界にも影響を及ぼし、従来通りカロムマーク型のトロフィーを入賞記念品に当て込んでいた選手権大会の事業計画は対応しきれず、苦肉の策で「穴あきメダル」の登場と相成った。19回を迎え、いよいよカロム日本選手権大会も、国際経済をも視野に入れてコトを進めなくてはいけなくなったようだ。



昨年の大会で問題になった「10秒ルール」。大会案内や開会式のルール説明でも参加選手に周知徹底を図った。その甲斐あって、スムーズな大会運営が行えた。大会実行委員会を代表して、参加選手の皆さんにお礼申し上げたい。

さあ、来年はいよいよ成人式だ。どんなお祝いの仕方が良いのだろうか？





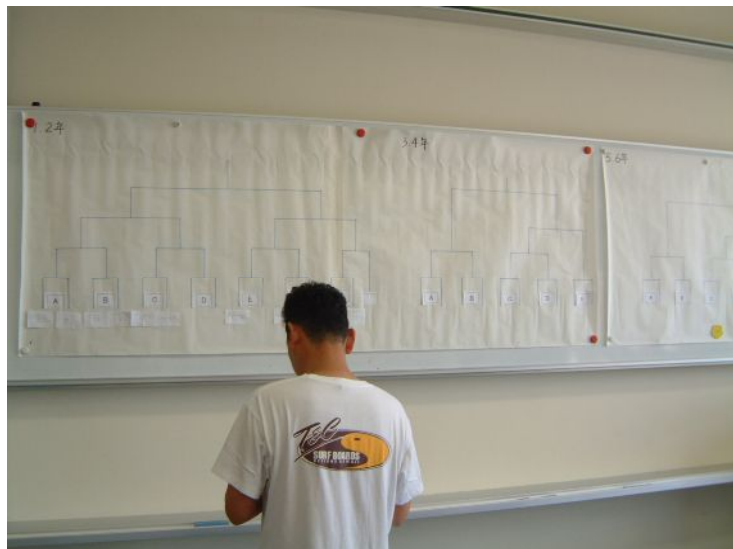
- 【Aクラス】優勝：角田龍也 準優勝：松村日奈 3位：川上悠斗 4位：小川滉太  
 【Bクラス】優勝：古川弘樹 準優勝：赤尾美保 3位：福本優季 4位：石田萌  
 【Cクラス】優勝：門野純也 準優勝：門野裕司 3位：林敏行 4位：角田克司  
 【Dクラス】優勝：田中麻美香/赤尾美保 準優勝：山岡楽/前川真也 3位：若林岳/長田大 4位：山本悠樹/寺井智思  
 【Eクラス】優勝：早川秀樹/駿哉 準優勝：小川陸博/滉太 3位：伊藤明雄/洋輝 4位：上野智士/裕大  
 【Fクラス】優勝：門野純也/裕司 準優勝：奥居聡/美加 3位：角田克司/林敏行 4位：秦滋/國武博之 (敬称略)



# SUPPORT HEADLINE

選手権大会が終わってまもなく、カロムサポートが飛び込んできた。第2土曜ということもあって、久しぶりにエントリーしてみた。大須賀事務局長からメールが届いた。奥居会長父娘がサポートを手伝ってくれるとの知らせだ。「鬼に金棒だ！」って、わたし全然強くはないんで「鬼」じゃないけど、妙に勇気とか自信が勝手に沸き上がってきて、ウキウキしながら城陽小学校へと向かった。

僕が到着する前に、今日の主人公は到着されていた。早速、校長室でPTA役員の方と簡単な打ち合わせ。トーナメント表を作っているの、低・中・高学年に分けて誰が強いかわかるとの依頼だ。時間が限られていてしかも短い。選手権大会のように試合時間を制限することにした。奥居会長父娘が、選手権大会でダブルス一般の部準優勝チームであることは“サプライズ”ということで伏せておこうとしたが、鬼に金棒状態の僕はつい口を滑らせてしまった。そうなれば、王者にチャレンジというお決まりの企画モノが登場することは予測に容易い。こうして、およそ2時間のタイムスケジュールは決定した。



マニュアル通り、ルールとルーツの説明は僕がさせてもらった。最近は話だけではなく、デモンストレーションを織り込みながらルール説明を行っている。特に小学生くらいの子どもたちや大人でも初心者の方には、こういった方法が効果的に思えてきた。



いよいよトーナメント戦の開始だ。奥居会長父娘と僕の三人で手分けして審判を務めた。初めての子は少なかったが、みんな結構レベルが高そう。選手権大会に出場した子どもは居なかったが、予選リーグはとっぴできそうな強者もちらほら。



各グループのチャンピオンを決めたら後は“チャレンジカロム”の始まりだ。奥居会長父娘は、いくら小学生といえども手を抜いて相手することは失礼にあたるかと親善ではなく真剣勝負を繰り広げていただいた。城陽小学校のみんなは、奥居会長の正確無比な『ターミネーターショット』や美加さんの『マルチショット』を目の当たりにして、驚きの様子だった。(いずれも命名は僕)

最後に美加さんが、「20回大会で待っているから、いっぱい練習してぜひ挑戦しに来てください」とラブコール。賑やかに爽やかに、王者のサポートは終わった。



ってことで、カロムサポーター急募！

守山市立明富中学校

明中祭「文化の部」体験活動への講師派遣依頼

日時：平成18年9月15日（金）

10：45～11：45

場所：守山市水保町3045-1 守山市立明富中学校

参加予定人数：最大20名

※詳細は大須賀事務局長まで



# Go for 2007

「じゅうく」の次が「にじゅう」ってことは、かなり小さい頃から数えられた。そして、そのことは当たり前のようにちゃんと覚えている。「二十歳」だった頃のことは、結構忘れていたりしているのに。

今大会を終えて、20回大会に向けての反省会を実行委員会で行った。細かいことは別にして、次大会ということにとらわれないで問題点を整理してみた。

「事業予算の確保」・「運営スタッフの世代交代」・「青年会議所の協力体制」・「審判のスキルアップ」などが主な課題として採り上げられた。当たり前なことだが、毎年僕たちは一つずつ年をとってゆく。正直言って「若さで突っ走る」世代は、とっくに過ぎてしまった。日常業務に降りかかる、様々な課題とも向き合っ、解決策を探さなくてはならない。一緒に青年会議所運動を進めてきた、残党メンバーの少なさにも寂しさを感じている。未だ間に合うのかも知れないけど、いつまでも待っててくれるものではない。ひょっとするとこのタイトルは「Go for 2015」位にしときゃ良かったんじゃないかなって、いま思った。



そんな、言いようのない危機感が後押ししてくれたのかわからないが、お盆休みにこんなモノ作っちゃまったよ。

十進法なら、「19」の次は「20」で、その次は間違いなく「にじゅういち」がやって来る。先回りしすぎて

も、待ちくたびれるかも知れない。やっぱり「Go for 2007」でイイや!



12年ぶりにカロムが戻ってくるぞ。

朝日放送の人気番組「探偵ナイトスクープ」に再びカロムが登場する。

奥居会長、門野純也/裕司兄弟ほか豪華出演陣。

思い起こせば12年前、「世界で5本の指に入る」と豪語して、魔術師井戸氏は同番組に登場、不覚にも探偵(レポーター)の清水圭氏に敗れ去るという失態を演じてしまったのだ。今回は奥居会長と門野兄弟だから、そんな喜劇みたいな結末にはなりはしないだろうが、一抹の不安も残る。でも、オンエアまで内容は、トップシークレットだ

からね!

以下は、カロム談話室に書き込まれた門野等氏のコメントです。

昨日(8月9日)、朝日放送の探偵ナイトスクープの取材陣が我が家にやってきました。

南極観測船「しらせ」の乗組員の間でカロムがはやっており、カロム日本選手権大会で優勝した純也&裕司と、「しらせ」の強豪と対戦してほしいとのこと。

そしてその日の取材後、南極観測船「しらせ」が停泊している横須賀に荷物をまとめて出発し、明日11日(金)真の日本一をかけて対戦するそうです。

この模様は9月15日(金)夜11時過ぎに放送される「予定」です。お楽しみに!

※お見逃しなく

## 定例競技会のご案内

日時:2006年12月3日(日)

13:30~16:30

(受付13:00~)

会場:文教スタジオ5Fコンベンションホール

参加費:300円(ひとり)

(おつりの要らないように小銭をご準備願います)

一年の総決算の競技会です。好成绩でイイお正月を迎えましょう!  
今スグ予定表にチェック!!

## ぶれいくしよつと



6月の定例競技会に、NHK大阪放送局が取材に来てくれた。「もっともっと関西」という関西生活情報番組で、制作会社の伊勢さんとリポー

ターの船本由佳さんをこっちが取材しちゃった。

探偵に扮した船本さんが、彦根でしか遊ばれていない「カロム」を追っかけて、その謎に迫ろうとするモノ。最近テレビが嫌いな僕は、逃げて回ったり、不用意なコメントを発してカットされることを望んでいるのだが、今回はホント亀ちゃんに打ちのめされたくらいスパッと切られていて、正直ショックも感じてしまった。

「カロム倶楽部次号には今日の取材のこと載せますから。もし良かったら送らしてもらいますよ」と約束したので破るわけにはいかない。ただ、・・・

一つだけ許して欲しいのは、左に載ってる記事とロゴ。天下のNHKさん!大目に見てやってよ!(前カロム大臣)

